



第5回環境人部会 摘録



日時：平成25年3月1日（金）18：15～20：00

場所：宮前区役所4階第2会議室

【進行：佐々木部会長】

1 出席確認

出席：佐々木、浦野、大村、黒沢、白井、芒崎、福田、藤田、本郷、森山

欠席：直本

2 前回会議の内容確認

3 区民会議交流会の感想等

・市長講話の概要

区民会議の目的は地域の課題を解決すること。
要望などは議員の仕事であり、区民会議は地域で解決するという点に主眼
課題は解決するまで継続し、次の期の区民会議まで引き継いでいってもよい
提案を実行するため、各種団体から推薦委員を出していただいている
成果が見えてくれば区民会議の認知度も高まっていく
実行を見据えた提案にする
地域に根ざした課題は市全体や県・国にとっても共通の課題となりうる
区予算がイベントに偏ったことがあった。安易にイベントに走らず課題解決の手
法を検討してほしい

・感想等

佐々木：普段は感じないが20万人もいる宮前区は大都会。地元青森の青森市は約20万人なので、地方の中枢に匹敵する。細かいサービスは行政では手が届かないので地域の方の協力をいただきたいという点が印象深かった。ウォークラリートークラリーは反応が良かった。頑張りましょう。

大村：区民会議の知名度が低いのは実行が伴っていないからだと改めて感じた。できるだけ提案の段階で具体的なものにしていきたいと思う。

黒沢：各区似たり寄ったりな現状なのかという印象。期をまたいでの実行というところで、あと一年の間にやり切らないといけないと思っていたため、少し気が楽になった。

4 具体的な提案の検討

⇒事務局から市民アンケートの結果、川崎市の取組、他自治体の事例について資料説明。もろもろ参考にしながら具体的な提案の検討へつなげる

- 持ち寄った提案について、意見交換 33-42 ページ

何が課題か、どのように地域主体で解決していくかなど発表（敬称略）

各委員、資料に沿って説明。以下、資料への補足事項。資料以外の提案も別紙に添付

p35：行政に要望済。仮設であれば可能ではないかと道路公園センターに相談している。30万ほどでできる。（本郷）

p36：宿河原にある川崎市緑化センターに協力を依頼。公園管理の一環として木の名札をつけ、親しみやすい公園づくりをする。公園管理を通したコミュニティ形成へとつなげる。様々な視点で拠点としての公園を考える必要がある。たとえば、防災。管理運営協議会で防災について検討をしているのかなど（福田）

p36：ここで指す街路樹には植え込みも含まれる。並木という範囲の広いものの管理を通じて、複数町内会の連携や団体のネットワーク化へとつなげる。点から線のコミュニティへ。（藤田）

p39：芝生・遊具・花壇等の情報の整理を行い、公園利用促進に向けた提案を検討する。道路公園センターで情報収集できるのではないかと（黒沢）

佐々木：課題を挙げていくというのも区民会議のミッションなのでどんどん挙げてもらいたい。次回は実現性について検討し、絞り込んでいく。市長講話では単発のイベントを批判しているわけで、成果を見据えた継続的な取組の中でのイベントは批判しているわけではないので誤解の無いようお願いします

5 今後の部会進行について

6 みやまえ探検！発見！ウォークラリー トークラリー

事務局から説明

- 広報状況：市政日より、タウンニュース、区民会議日より回覧、区HP、こども文化センター、各行政施設
- 宮崎台コースの応募状況がいまひとつ
- マニュアルを3月5日前後に送付するので確認ください
- 引率担当者に下見をお願いします
- 鷺沼北公園担当に本郷さんをお願いします

森山委員：鷺沼コースを下見。フロントウン鷺沼を越えるとトイレが無いので注意

7 次回の日程

第6回 環境人部会

4月8日 18時15分～20時 区役所 第1会議室

宿題：今回資料、各委員からの提案を熟読し、実行に向けた検討を個別に深める